

確率・統計ナイト

確率の錯覚。人はなぜ正しい選択をできないのか？

高校生無料
会員・一般は有料



プレミアム講座は東京都立大学教員の専門的かつユニークな研究の内容を紹介する講座です。興味のある方々に受講していただけるよう特別価格で提供しており、入会金も不要（一般の方）です。高校生は無料で受講できます。尚、当講座に関しては事前のキャンセルの場合でも受講料は返却いたしませんのでご了承ください。

日時 2月17日（月）18:00～19:30

講座コード 2441Z008
高校生専用講座コード 2441Z009

講座名 確率・統計ナイト

確率の錯覚。人はなぜ正しい選択をできないのか？

受講料 1,000円（1回）
※高校生無料

講座形式 オンライン

定員 30名（+高校生 約10名）

確率と統計を楽しむ夜です。確率・統計が好きな人にもそうでない人にもお楽しみいただけるように3つのエピソードとアラカルトの構成でお届けします。

1. 遺伝の法則で知られるメンデルの実験データはおかしい？データ操作はあったのか？

エンドウマメを使った実験で遺伝の法則を発見した遺伝学の巨人。

その実験データには後の確率・統計論の観点からデータ操作があったことが決定的となっています。メンデル氏の偉大さに変わりはありませんが、どんな操作があったか興味ありませんか？

2. 確率の錯覚。私たちはなぜ確率的に正しい選択をなぜできないのか？

確率学の目的の一つは、私たち人間が数学的に正しい判断・選択をできるように支援することです。その教えによると、ヒトは実に間違った判断をしてしまい、確率を直感的に理解していないことがわかります。つまり、確率を錯覚してしまうのです。確率の錯覚はなぜ生じるのか？一緒に考えましょう。

3. 最良のパートナーを発見する方法。数学的に正しい人生の指南。

最良のパートナーを見つける方法、それは誰の人生にとっても重要なこと。確率論からその意外な戦略を披露します。これで、数学的に正しい人生を送れるはず。ただ、これ実践するかどうかはあなた次第です…。

4. 確率統計の小話

雑学としか言いようがありません。そんな確率・統計の小ネタをお話しします。ぜひ、ご家族やご友人にもお話しください。

お話しする内容

じゃんけんと確率：「最初はグー」にはそんな意味があったのか。

気まずいアンケート：ヒトを正直にさせる方法。

病気検査の節約術：一見、恐ろしい話ですが、とてつもなく節約できます。

とんでもなく大きな数とあの社名：みんなが知っている会社の名前です。



※アーカイブ配信（録画：7日間限定）視聴も可能です。

※お申込みに関しては、本学HP(<https://www.ou.tmu.ac.jp/>)をご覧ください。



講師
おかもと しょうご
岡本 正吾
東京都立大学
システムデザイン学研究所
情報科学域
教授

講師略歴
博士（情報科学）。
東北大学大学院情報科学研究科で博士号を取得。名古屋大学大学院工学研究科講師、准教授を経て、現在は東京都立大学システムデザイン研究科 教授。専門はハプティクス、人間情報学、感性科学・工学。
人間の感覚と運動を情報科学の手法で理解・支援する研究を行っている。曖昧な人間の感性を計算し、感性に訴える製品とサービスづくりを支援する技術開発も推進。